

### [3] 貸借対照表

貸借対照表について、推計を行いましたので報告いたします。

#### 貸借対照表（推計）

資産の部

（単位：千円）

科 目		27年度末	26年度末	増 減
資	固定資産	20,699,050	20,852,785	△ 153,735
	有形固定資産	17,179,572	17,396,396	△ 216,824
	特定資産	3,484,418	3,434,418	50,000
	その他の固定資産	35,060	21,971	13,089
産	流動資産	3,483,222	3,454,445	28,777
合 計		24,182,272	24,307,230	△ 124,958

固定資産は、有形固定資産は減価償却により減少し、特定資産は減価償却引当特定資産へ5千万円を積み立て、1億5,373万円の減少となります。流動資産は、現金預金が109万円の増加、減少（キャッシュフロー計算書の繰越支払資金の減少額と同値）、また27年度退職者に対する退職金財団からの交付金が主である未収入金が2,768万円増加となり、総額では1億2,495万円の減少となります。

負債の部、基本金の部、消費収支差額の部

科 目		27年度末	26年度末	増 減
負	固定負債	2,080,775	2,390,373	△ 309,598
	長期借入金	194,390	361,010	△ 166,620
	学校債	509,320	515,320	△ 6,000
	長期未払金	41,595	43,181	△ 1,586
	退職給与引当金	1,335,470	1,470,862	△ 135,392
	流動負債	1,327,345	1,252,439	74,906
	短期借入金	166,620	166,620	0
	学校債	110,300	111,800	△ 1,500
未払金・前受金・預り金・仮受金		1,050,425	974,019	76,406
計		3,408,120	3,642,812	△ 234,692
基本金		30,014,228	29,594,214	420,014
消費収支差額		△ 9,240,077	△ 8,929,797	△ 310,280
合 計		24,182,271	24,307,229	△ 124,958

固定負債のうち、長期借入金は27年度返済予定額の1億6,662万円が減少、退職給与引当金は1億3,539万円が減少となりm固定負債総額では3億959万円の減少となります。流動負債については27年度退職者の退職金が主である未払金等が7,640万円の増加となり、流動負債総額では7,490万円の増加となります。その結果、負債総額は2億3,469万円の減少となります。

施設支出、設備支出、借入金の返済などにより第1号基本金への組入れを行い、基本金は4億2,001万円の増加となります。

事業活動支出(教育活動支出+教育活動外支出+特別支出) 予備費含む	6,205,215	6,234,334	△ 29,119
運用資産	6,782,911	6,731,819	51,092
外部負債	1,541,518	1,626,187	△ 84,669
内部留保資産比率(%) (運用資産-総負債) / 総資産	13.96%	12.71%	1.25%
運用資産余裕比率(年) (運用資産-外部負債) / 事業活動支出	0.84	0.82	0.02
減価償却累計額	12,630,376	12,163,746	466,630